

新兵庫県立こども病院

- 総合周産期医療センター 83床 (NICU 21床、MFICU 6床)
- 集中治療部門の強化: ICU 8床、SCU+PICU 8床
 - 救急ICU 11床、HCU 28床 (集中系病床 54床)
- 手術室・集中治療室・救急の同フロアへの集約
- 広域小児救急の強化: ER型、屋上ヘリポート
- 支える医療の強化: 在宅支援病棟、緩和ケア病室
- 感染対策の強化: 感染病棟、

Bio-Clean Room 4 室

- 感染科、臨床遺伝科、リハ科

● 病床数:	290床(266)
● 常勤医師:	150人
● 看護師:	600人
● 診療科:	27科



新兵庫県立こども病院

- 小児がん医療センター

- 病棟の清潔化(:手術室レベル)
- Bio-Clean Room 4 室
- 緩和ケア病室の整備
- プレールーム、院内学級
- 外来化学療法室
- 新陽子線治療センター(2017年度開院)との連携



全国集計(小児血液がん学会)

2012～2014年 3か年集計(新規患者)

【造血器腫瘍】

1	埼玉小児医療センター	144
2	兵庫県立こども病院	90
3	大阪市立総合医療センター	85
4	九州大学病院	78
5	成育医療センター	76

⋮

【固形腫瘍】

1位	成育医療センター	131
2位	兵庫県立こども病院	125
3位	九州大学病院	101
4位	筑波大学病院	94
5位	埼玉小児医療センター	89

⋮

併せると

1	埼玉小児医療センター	233
2	兵庫県立こども病院	215
3	成育医療センター	207
4	九州大学病院	179
5	大阪市立総合医療センター	164

2015年新患

血液腫瘍性疾患	急性リンパ性白血病		固形腫瘍性疾患	髄芽腫	5
	BCP	21		MRT	1
	T	2		上衣腫	1
	急性骨髄性白血病			頭蓋内胚細胞腫瘍	1
	AML(M2)	2		神経膠芽腫	1
	AML(M7)	1		髄膜腫	1
	慢性骨髄性白血病(CML)	1		神経芽腫	6
	若年性骨髄単球性白血病	1		網膜芽細胞種	3
	悪性リンパ腫			肝芽腫	3
	Burkitt	2		腎腫瘍	
	DLBCL	1		wilms腫瘍	1
	骨髄異形性症候群(MDS)			ユーイング肉腫	1
	RAEB	1		横紋筋肉腫	2
	RCMD	1		頭蓋外胚細胞腫瘍	
	Down	1		immature teratoma	2
	Down症TAM	1		上咽頭癌	1
	ランゲルハンス細胞組織球症	6		未分化肉腫	1
	血球貪食性リンパ増殖性疾患(HLH)	6		腭腫瘍	1
		47		固形その他	20
					51

兵庫県立粒子線医療センターとの連携

病院名: 兵庫県立こども病院

兵庫県立粒子線医療センター(たつの市)と連携し、
粒子線適応のある固形腫瘍症例について平成27年以降、
以下の照射を施行している。

8歳 上衣腫

19歳 上衣腫

7歳 上衣腫

6歳 胸椎脊索腫

10歳 脊髄MRT

2歳 腹部横紋筋肉腫

12歳 縦隔卵黄のう腫瘍(準備中)

可能であれば今年度下半期より要鎮静患者にも適応拡大していく予定

AYA(Adolescent & Young Adult)世代の問題

【造血器腫瘍】

概ね血液内科医が診療を行っている。しかしALLなどは30歳くらいまでは、小児プロトコールで治療をしたほうが成績がよい、という主旨の論文は数多い。

【肉腫(特に骨・軟部組織)】

専門医は絶対的に少ない。
(というより誰が診る? 整形外科医? 腫瘍内科医?)
しかもこの世代の骨・軟部組織腫瘍は強力な化学療法が治癒のためには必要不可欠。

当科においては初診の年齢制限なし。
ぜひAYA世代の造血器腫瘍・肉腫を
ご経験されたらご相談いただければ
幸いです。